

立命館経済學

第二十八卷 第二号

昭和五十四年六月

内 容

論 説

- 「地域主義」に対する批判（上）……………杉野 圀 明 1
——玉野井芳郎氏の所説について——
- 三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と
社会政策および中間層政策の展開(白)……………川 本 和 良 31

研 究

- 価格体系と価値法則……………佐々木 秀 太 73
- 研究ノート
- ケインズ経済学の意義と限界（Ⅱ）……………山 田 彌 93
——スキデルスキー編『ケインズ時代の終焉』
をめぐって—— 北野 正 一
河野 快 晴
松 川 周 二
- 共同研究室…………… 157

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十七卷・第六号

論 説

欧州経済通貨同盟の発展……………清水貞俊

国際価値論の諸論点について……………岩田勝雄

国有林における

労働組織の形成と展開(四)……………奥地正

——東北・秋田国有林を中心に——

研究ノート

現代資本主義の生産力発展段階……………坂本和一

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十八卷・第一号

論 説

公信用の展開……………小牧聖徳

——信用、利子生み資本
および国家との関連——

景気循環の形態に関する

比較動学的分析……………北野正一

研究ノート

ケインズ経済学の意義と限界(Ⅰ)……………山田正彌

——スキデルスキー編『ケインズ
時代の終焉』をめぐって——

松川周二
北野野快
田野正一
野田正一

資 料

現代アメリカ鉄鋼業の生産構造……………坂本和一

翻 訳

J・Rマカロック著

『石炭税制改革論』(下)……………若林洋夫

発行所 立命館大学経済学会